



伊豆の国市 議会だより

2015年11月1日発行
No.39

編集
伊豆の国市議会だより特別委員会
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913
<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

9月定例会

一般質問	2
常任委員会報告	9
議会の動き	10

事業評価	11
議決結果・賛否一覧	12

一般質問

今回は15名が行い当局の考え方を質しました。
FMいずのくに(87.7MHz)で生放送しています。

防災・減災対策は

小澤五月江

問 昨年9月議会において質問した避難経路の見直しの進捗状況は。また、避難所を開設する上で、災害弱者を含めた不特定多数の避難者に考慮した運営マニュアルが必要と思われるが。

答 ハザードマップは、従来の地震水害のマップの見直しを図り、これらをもとにまとめ、新たな総合型マップとして、今年度末に全戸配布する予定。
また、プライバシーに配慮した避難所運営をするため、避難所ごとのマニュアル作成の作業を現在進めている。

問 避難所生活に迅速に対応するため、各広域避難所の敷地内に、防災倉庫を設置する考えは。

答 広域避難所となる22施設のうち、15施設は防災備蓄倉庫を設置あるいは、専用の倉庫を有している。残り7施設が県立高校、幼稚園、保育園等で、スペースの確保が難しく、各施設の倉庫等に避難物資を保管している状況。

問 下水道直結の仮設トイレの設置を検討すべきではないか。

答 現在、下水道に直結したマンホール型トイレは、江間公園と湯元公園に設置している。

無電柱化の推進を

問 市内の無電柱化の状況と、今後の計画については。

答 県土木事務所が国道136号線の、南條交差点で行っている1カ所のみ。今後は、景観や災害時のことを考えると、電線の地中化が求められている。しかし、多額の事業費がかかるため、現在市内で無電柱化の計画はない。



公園に熱中症対策になる

ミストシャワーの設置を

問 市内公園に設置する考えは。

答 昼間の利用状況や、必要経費などを把握し検討したい。

伊豆保健医療センターの 存続について

内田隆久

問 平成26年度決算から見た課題は。

答 決算の収支差額は1090万円の赤字です。要因は常勤医師の不足により、医療収入が減少しました。

今後、このまま医療収入が減少することにより、医療設備の更新や病院の施設整備に対する投資資金の不足などが懸念され、病院運営の改革に取り組むことが求められています。

問 評議委員会では、中伊豆温泉病院との統合や、厚労省の医療改革で200床未満の病院は淘汰される方向性にあるという意見や、今後の運営を「大病院」「公立病院」「地域医療振興会」「医師会」で行っていくという提案がありました。その点については。

答 ヒアリングをしているところで、理事会で話をしていきます。

問 小野市長が理事長に就任したのは、伊豆の国市民の利用が多いので、この病院の立て直しを主体となって考えてくれという意味では。

答 それはございません。

問 6月の評議委員会で委員の中には病院の存続が難しいという意見もあり、建て替え検討会の設置をしましたが、理事長に就任して3カ月経ちますが、医師確保を依頼した理事、評議員より回答がありましたか。

答 県や順天堂病院に相談しています。

問 設立時は、田方9町村だったものが合併で3市町に状況が変わり、このままでは、伊豆市と函南町がこの財団を解消しようと言うのでは。

答 話し合いをしていかなければならない。現在はそのような考えはない。

問 市政の多くの課題の中で優先順位を高く、この問題に取り組んでいただきたいと思うが。

答 理事の皆様、評議員の皆様とともに取り組んでいきます。



伊豆保健医療センター

工場排水の悪臭対策について

杉尾利治

問 8月11日、鳥打区の『市政懇談会』で、長岡北小学校近隣の長岡物産(株)による工場排水の玉ネギ臭について「もう3年続いている。全く改善されていない」との訴えがありました。

市長は「私も学校に何うが、車を降りると臭いがある。市は(会社に)幾つかの提案をしています。皆さんは、どうすれば良いとお考えですか」と問いました。

住民の方は「できれば工場に出て行ってもらいたい。山から流れ出る水は少なく、そこに工場排水が流されている。排水が通過する小学校から最初に悪臭対策の要望が出された」と怒りに満ちた答えでした。

これ以上解決が遅れると、住民運動で会社と対峙する事となり、企業イメージ

ダウンの不利益になる。この事をどのように考えられますか。

答 市では、悪臭問題が全く改善されていない事による周辺住民からの苦情を説明し、住民との間に『トラブルが生ずる事態は避けなければ』と考え、早急に悪臭対策を行うよう指導。会社は「市で提案いただいた微生物処理や、活性炭処理による脱臭設備業者を紹介してほしい」との事でした。

問 微生物処理による脱臭装置を検討する方向ですか。8月20日以後、話が進んでいるとの事で、もう少しだけ見守らせていただきたいと思えます。

答 2案で効果があるのか工場排水を採取して検査の段階まで進んでいきます。



長岡北小前の排水路

男女共同参画事業・

女性議会の開催について

柴田三智子

問 静岡県では、平成11年6月に施行された男女共同参画社会基本法の基本理念を踏まえ、市町を含め連携共同した取り組みを進めていこうと、静岡県男女共同参画条例を平成13年に策定しました。また、県では7月30日を男女共同参画の日として、毎年さまざまな事業を開催しています。

そこで、当市の男女共同参画に関する取り組みについて質問します。女性がエンパワーメントする環境の一つとして、伊豆の国市女性議会を開催し、女性の活躍の場を積極的に検討してみたいかがですか。

答 当市では、市会議員17名のうち女性議員が4名で、女性の市政参画が積極的に行われていると認識しています。また、女性講座やふれあいトークなどの場でも、女性の意見を聞く機会を設けています。女性議会としてではなく、より身近に女性の意見を聞ける事業展開を検討していこうと考えています。

子育て中の方が学べる環境づくりについて

問 当市で開催されている講演会・シンポジウム・講座に、子育て中の方でも参加しやすい環境づくりの一つとして、託児ボランティア養成講座を開催し、託児ボランティア員として、各開催事業に「託児あり」を設ける考えはありませんか。

答 教育委員会では、市民の皆さんと学びたい、伝えたい、教えたいをモットーに有償ボランティア的な生涯学習サポーター制度を実施していますが、現在託児ボランティアの登録はありません。託児支援などの活動を始めている事例も他の市町にあるので、今後これらを参考に検討していこうと考えています。



公共し尿処理施設の

今後の取り組み

佐野之一

問 近年、し尿処理施設を取り巻く環境や状況は、大きな転換期を迎えている。大仁し尿処理場が運転を休止し、長岡し尿処理場で統合処理を行うことになった。長岡し尿処理場は、築造経過年数25年、葦山し尿処理場は38年、数年後には、この2施設の統合処理問題が持ち上がると思われるが、その対応策は。

答 今後の、し尿処理施設の広域化や、迷惑施設といわれない方策について。また、既存施設の有効活用と長寿命化対策の考えは。

答 対応は第1段階として、処理能力に余裕のある長岡し尿処理場へ移行し、次期施設の整備が完了した時点から第2段階とし、1処理場体制へ移行する計画。長寿命化対策は、機械や装置の機能を維持していくためには、大規模修繕または、更新も必要と考えている。下水道処理計画区域内にある立地を活用し、下水道投入施設への改造を計画している。

坦庵公思索の道について

問 どのような方法で観光誘致に活用していくのか。また、名称に負けないための道路改修、環境整備は、どのように考えているか。

答 若者目線による、観光客のニーズに合った、散策マップの発行に向け取り組んでいく。岩戸団地は老朽化が進んでいるため、公営住宅等長寿命化計画で、建て替えは行わず、用途廃止とする方針。



坦庵公思索の道

消滅自治体にならない施策は

問 日本創成会議の試算結果を当市はどのように受け止めているか。

答 幸いにも当市は、消滅可能都市にはリストアップされておらず、安堵している。

平等に敬老の意が表せる
敬老祝い金の完全復活を

田中正男

問 地区敬老会にも長寿の集いにも参加できない方がいます。また、今年地区敬老会に出席できない方に対し、区の判断で行う「敬老の意を表す事業」も、行う区と行わない区があり、不公平感が出ました。

地区に市の肩代わりをさせるのではなく、全ての対象者に平等に敬老できる敬老祝い金を、来年度は完全復活すべきではないか。

答 高齢者人口の増加に伴い医療や介護の財源確保が必要のため、長寿を祝う行事を行い、敬老祝い金は全員でなく、77歳と88歳の節目の年齢の方に交付する形を継続していきたい。

市内全域に光通信網整備を

問 市内平坦部は光通信網整備により、インターネットの超高速大容量の情報伝達が利用されています。

未整備の市内山間部の情報通信格差解消のために、光通信網の整備をすることを考えは。

答 山間部は広範囲に対し利用者が少ないため市の費用負担が大きい。今後、補助金や交付金などを活用して整備できるように検討したい。

住宅新築リフォーム助成制度の継続を

問 この制度は、市民の住環境向上、商工業の活性化の目的があり、助成金の10倍以上の仕事となって経済波及効果が出ています。多くの市民が制度を利用できるように、来年度以降も継続すべきではないか。

答 事業の実施期間は平成27年度までとなっているが、本年度、事業効果の検証を行い、その結果を踏まえ継続の必要性を判断し、必要に応じて補助率や制度内容の見直しなど、継続の方向で検討していきたい。



地区敬老会の様子

伊豆保健医療センター常勤 医師確保のその後について

三好陽子

問 平成26年度から、内科常勤医師が不在で、ベッド数97床のうち、37床は入院受け入れ中止である。内科常勤医師の確保は急がれるが、取り組み状況は。

答 2市1町の関係者が、県や医療従事者等を訪問するなど、手を尽くしているが、医師確保に至っていない。

問 医師確保対策について、「他の医療機関との統合も含めて検討していく」とのことだが、進捗状況は。

答 伊豆保健医療センター・田方医師会・2市1町及び田方消防組合から選出された委員による「病院整備検討会議」を新たに設置して協議を進めていく。

平和の取り組みを積極的に

問 戦後70年の節目にあたり、平和事業を積極的に進めたいと思うが、事業計画は。

答 中央図書館ギャラリーで、8月12〜26日まで「原爆と人間パネル展」を行った。また、図書館内に反戦・反核兵器

器に関する本の紹介コーナーを設けた。平和祈念式の会場ロビーでもパネル展を実施して、市民に核兵器廃絶と世界の平和の確立を訴えていく。



中央図書館

地下式消火栓を地上式に

問 地下式は、道路上の作業になり危険を伴う。平日の昼間は高齢者や女性が多く、力を要するので改善が必要と思うが、現状と計画は。

答 消火栓1335基のうち、地下式は伊豆長岡地区64基、葦山地区36基、大仁地区299基であり、機能は保たれている。消防団に定期的な点検をお願いしている。開きにくい蓋は交換している。地上式への変更は、水道の本管工事や道路改良工事に合わせて実施する考えである。

葦山反射炉世界遺産登録 と地方創生

梅原秀宣

問 国・県の対応、保全計画、葦山反射炉及び周辺の整備、観覧料の改定、情報発信や経済活性化への取り組み、観光広域化における連携等について市の対応は。

また、葦山反射炉などの観光資源をま

ちづくりに活用することで地方創生ができると思うが、市の見解は。

答 ガイダンス施設並びに駐車場・多目的広場等の総工費約6億5000万円のうち6割が国や県の補助金で賄える。葦山反射炉にいたずら書きがあつたので防犯カメラの設置を予定している。保全については調査の結果を見ながら随時実施する。観覧料の改定条例を上程しており来年4月から値上げしたい。修学旅行や各種団体の研修旅行などの誘客を他の構成資産と連携して働きかけていく。経済の活性化では、商工会との連携により新規参入や起業等の支援を行う。

また、「美しい伊豆創造センター」のスローガン「伊豆は一つ」の実現に向けて他市町との連携を強化する。今回

の世界遺産登録は地域振興の起爆剤であり、市内の歴史資源や伊豆半島ジオパークを活かすことで、起業や雇用創出など今後のまちづくりに向けた施策を総合戦略に盛り込んでいく。



7月26日 提灯行列のあと万歳三唱

18歳選挙権への対応について

問 6月に選挙権年齢を引き下げる改正公職選挙法が成立し、来年夏の参議院選から実施されることになったが、市並びに教育委員会の対応は。

答 若者の社会への参加意識が育ち、まちづくりに新たな活気が生まれる。学校教育の場においては、若年層への啓発活動として模擬選挙や出前授業を実施、政治意識の向上を図るとともに、教育の政治的中立性を確保し、偏りのない適切な指導を行う。

葦山反射炉周辺における

景観について

鈴木照久

問 葦山反射炉周辺、屋外広告物について、現状の規制は。

答 市内の屋外広告物に係る新規、更新の許可事務は、権限移譲に伴い、平成18年度から市が静岡県屋外広告物条例に基づいて行なっています。

葦山反射炉周辺については、第2種特別規制地域として指定されており、同条例第3条では「特別規制地域内は広告物を表示し、または、掲出物件を設置してはならない」と規定されています。

世界文化遺産登録の趣旨に鑑み、本年7月に「葦山反射炉周辺地区における屋外広告物の表示等に関する運用方針」を告示しました。

運用方針では、葦山反射炉周辺地域における新規の広告物の表示または掲出物件の設置については、事業者に自粛を促すとともに厳正に審査することとしています。

問 今後の規制について。

答 葦山反射炉が世界遺産に登録され、その保全や景観について私達は世

界に約束しました。この周辺地域への屋外広告物等の設置を規制し、良好な景観を形成し、もしくは風致を維持していくことが責務です。

このため、「伊豆の国市屋外広告物条例」(仮称)を早期に制定したいと考えています。



葦山反射炉

空き家対策について

問 空き家数の把握と今後の対策について。

答 別荘やたまに出入りする人がいる二次的住宅、賃貸用や売却用住宅、そして居住世帯が長期にわたり不在であるその他の住宅を含んでいますが、住宅・土地統計調査の平成25年度では、空き家数は1760棟です。

空き家対策を講じるためにも、来年度に向け空き家調査実施について検討したいと考えています。

総合産業としての

観光振興について

天野佐代里

問 観光振興にかかわる人材の育成については。

答 観光アクションプランのワークショップを通し、仲間づくり人づくりのノウハウを学び合う機会を提供する。パートナーシップ事業等の活用を紹介し活動の支援を行きたい。



観光ワークショップ

問 地域主導型観光の核となる事業組織育成については。

答 旅館業者だけでなく商業者・農業者・NPOなどさまざまな分野の方が連携できる環境を整え、結びつきを強める支援をしていきたい。産業経済懇話会の中で議論を深め、DMOの創設に向けて関係団体と連携し積極的に取り組みたい。

若者の定住を図るために

問 生まれ育ったまちの一員として、暮らし・働き続けることの意義を推進することについては。

答 学校の特色を生かしたキャリア教育推進の中で、来年度、小学校3・4年生を対象に「私たちの伊豆の国市」を主題として社会科の副読本を作成し、仕事と暮らし、市の変遷を詳しく勉強できるように計画している。

問 地域産業の育成について。

答 企業誘致に関する相談への対応、商工会と連携した融資制度の充実・創業支援等に取り組んでおり、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地方版総合戦略の策定に向け検討を進めている。

問 地域活性化のための土地利用について

問 立地適正化計画策定について。

答 昨年、都市再生特別措置法の改正により立地適正化制度が創設され、来年度、計画策定予定。市街化区域を対象としているが、都市全体を見渡すときとされており市街化調整区域における課題も抽出し、規制緩和等についても併せて検討したい。

市の人事管理について

柴田三敏

問 現在の給料表はどのような過程で作成されたのか。昇給・昇格の現状は。

答 合併時の、平成17年度に国家公務員給料表に準拠し作成し、人事院勧告のあるたびに給与改定を行っている。現在の給料表は、平成27年4月1日に改定された。

勤務不良等の職員を除き、毎年昇給し、昇格は、主事から主査までの3級以下は継続年数による。副主幹の4級及び、室長・係長の5級及び、課長級の6級は試験による。部長級の7級は6級職の中から選考により決定する。

問 人事評価制度と目標管理制度は。

答 平成28年度からの運用に向け、本年度下半期に試行し、9月から12月に全職員を対象に目標管理、適正な評価、効果的な面談手法などの研修を実施する予定。

問 国・県との人事交流は。

答 国から1名、県知事部局から2名、県教育委員会から2名派遣され、人事交流として県へ1名派遣している。

温泉場通りの景観整備について

問 世界遺産のまちにふさわしい景観形成のため葦山反射炉周辺に限らず、温泉場通りや主要ポイントの道路に、看板の設置など、平成28年度の予算に計上する考えは。

答 現在、ワークショップで、看板のデザイン統一、花によるおもてなし、地域産品の直売朝市の3つの具体策の検討を進めている。このうち看板のデザイン統一は、観光基本計画にあるとおり、観光客の利便性に配慮し、わかりやすい誘導や案内サインの整備を推進していきたいと考えている。

予算化については、ワークショップの意見を聞きながら、民間と市が担う部分を精査し、実現の目途がついたところで、支援可能なものについては、予算計上を考えている。



狩野川中流域豪雨災害対策

アクションプラン

渡邊俊一

問 このアクションプランは平成16年10月に、狩野川中流域の各地で洪水が発生したことを受け、伊豆市・伊豆の国市・函南町・県・国が一体となって、床上浸水防止の施策を実施するものです。この計画は平成29年度まで延長されました。それぞれの河川に対する進捗状況は。

答 「柿沢川」県東部農林事務所の所管で、毘沙門排水機場のポンプ増設は完了し、平成28年度に排水機場内の整備工事を施工して完了となります。

「堂川」平成27年度から堂川本川の改修に着手し、本年度は堂下橋から両岸を約100m施工する予定。原木地区の調整池は平成28年度に完成する予定です。

「洞川」葦山時代劇場駐車場南側から葦山中央農道交差点まで850mを河川改修する計画。平成29年度に完成予定です。

「葦山古川」県沼津土木事務所の所管で、古川橋から上中橋までの約940

mの河川改修を行うことになっており、平成29年度に完成の予定です。

「宗光寺川」下流域への調整池と谷戸川バイパス河川の建設は、現在、着手していませんが、谷戸川バイパス河川について、来年度は県に測量試験費の予算要求をしたいと思います。

「深沢川」神島ポンプ場の建屋、発電機基礎が既に完成しており、平成27年度末までに機械設備、電気設備及び放流渠、流入渠の一部の完成を予定しています。また、平成28年度末までに、流入渠の一部と中島雨水幹線及び枝線の整備を実施し、完成する予定です。



洞川の改良工事箇所

長岡斎場の移転を含めた 建替えについて

古屋鋭治

問 ①現在の取組状況は。

- ②伊豆市「伊豆聖苑」の共同利用について。
③単独で建設した場合の費用。
④整備完了時期について伺う。

答 ①伊豆市火葬場の共同利用や市単独での整備の検討を行っている。
②伊豆市は、共同利用については伊豆の国市が示す火葬炉増設を含めた改修計画で検討する姿勢を示している。
③単独なら、伊豆市の施設と同規模の11億円程度。
④完成は、合併特例債の対象期限の平成33年3月を一つの整備目標としたい。



長岡斎場

庁舎の一ヶ所への集約化は

葦山駅周辺が適当

問 伊豆長岡庁舎増築か伊豆箱根鉄道駅周辺へ移転新築の2案を示しているが、利便性・事業費用の面から葦山駅周辺への移設が適当である。早期決断を。

答 特例債は、庁舎など多額の費用を必要とする建設事業には大変有利と認識している。2案の中では、市民にとって利便性の面からも、議員指摘の伊豆箱根鉄道駅周辺が優位である。しかし、基礎調査を行い、集約場所の候補地を複数設定したうえで利便性や財政負担等の評価を行い決定したい。

順天堂病院の新棟建設計画について

問 順天堂病院に無償提供した土地の建設計画を把握しているのか。

答 順天堂病院の計画案は、現病棟と県道葦山伊豆長岡修善寺線との間にある敷地には、診療施設、保健看護学部実習生対応施設及び管理部門が入る新棟（7階建て）を建設する予定で、平成30年秋季の完成を目指している。

県道東側の静雲荘跡地には、診療検査施設、病棟、循環器・心臓血管・脳卒中センターや大規模災害対応施設が入る新棟が平成31年以降完成の見込み。

新庁舎建設はやめて、 伊豆長岡庁舎増築でいくべし

水口哲雄

問 市の進め方は、まず合併特例債ありき、新庁舎ありきに見えるが。

答 決して、新庁舎や合併特例債ありきではありません。しかし、合併特例債は巨額の費用を必要とする建設事業には大変有利な起債と思っています。

問 歳入面では、交付税が年4億円も減る。歳出面でも、大きな事業として、伊豆市との共同設置になるごみ焼却場の建設、火葬場の新設計画などがあります。本当に市の財政面は大丈夫か。

答 率直に言って大変厳しいと認識しています。合併特例債を使うという前提に立てば、建設自体は多分可能だと思えます。

問 無理にこれを進めると、将来的にほかの事業等にしわ寄せがいくのでは。

答 庁舎の集約再整備を強行する考えは毛頭ありません。

問 30年後の庁舎のあり方は、30年後の行政、議会、市民の判断に委ねるべき。

答 一般的には、そのとおりだと思います。

選挙公営条例の制定を

山下孝志

問 公職選挙法では、公費負担できる選挙費用として、選挙運動用の自動車の借り上げ費用・自動車運転手の費用・自動車の燃料費、及びポスターの作製費用が認められている。当市としても選挙公営条例の制定をすべきと思うが。

答 公職選挙法では、金のかからない選挙、候補者間の選挙運動の機械均等を図る手段として選挙公営制度を採用しています。

今後、市議会及び選挙管理委員会の意見を伺い、検討してまいります。

問 合併時24名の議員定数を現在17名に削減、市議会基本条例も制定し改革を進めているが。

答 選挙を開催し、その旨は話します。

問 市長選挙についてはどうか。

答 平成24年8月に、市議選及び市長選における公費負担に関する条例の制定要望書が提出されております。

市議会選挙の公費負担のみにするのか、同じようにしたらいいのか、議員の皆さまと話を交わさせていただきたい。

総務観光建設委員会

平成27年度一般会計補正予算

■スポーツワールド跡地活用調査業務委託料1800万円の内容は。

スポーツワールド敷地内の、平地である開発済み地の14ヘクタールの測量と、工場及びスポーツ系の公園などの開発可能性調査です。

■耐震改修工事(長岡総合会館)

2450万円の内容は。

長岡総合会館の大ホール及び多目的ホールの天井耐震工事で、つり天井のフック部分をクリップによる補強や金具等による補強で、つり天井の落下防止対策工事です。

平成26年度一般会計決算

■全日本菊花大会伊豆の国市大会実行委員会補助金600万円の内容は。

菊花大会の総事業費は、1756万円です。主なものは、会場設営費569万円、宿泊費の補助571万円です。その内600万円が市の補助です。

■生活支援バス運行事業、8系統38本のうち、通学の状況は。

奈古谷線は奈古谷分校が廃校となり、

葦山小学校への路線。亀石峠から降りてくる路線は、小・中学生、高校生も通学に利用している。新規のバス路線は現在、検討しておりません。

■県道整備事業負担金、1076万円
予算計上されたが、決算は186万円
となった理由は。

葦山反射炉入口の歩道整備事業を県が実施し、化粧ブロック等で整備されました。市の負担金186万円以外は、県の事業費で行うことになりました。



葦山反射炉入口歩道整備

■葦山反射炉保全基金条例の制定

■条例制定の目的は。

葦山反射炉を保全し後世に継承するという重要な役割を担うため、葦山反射炉観覧料の値上げを行い、約20年に一度行う大規模な保全修理等に充当するための基金とするものです。

福祉文教経済委員会

平成27年度一般会計補正予算

■大仁し尿処理場の汚泥等処理業務委託料1650万円の内容は。

老朽化により9月末で休止するので、滞留する汚水・汚泥等の処理をする。

■伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合負担金1億2307万円の内容は。

用地取得のための負担金で、当市の負担割合は均等割50%・ごみ量割58%・45%です。

平成26年度一般会計決算

■住宅新築リフォーム助成事業補助金4576万円の内容と、今後の事業継続の考えは。

新築15件・リフォーム177件に補助した。今後は、継続の方向で検討中。事業の効果を検証して、必要に応じて制度の修正は行っていきたい。

■教育バス維持管理事業390万円は、年度途中で老朽化した32人乗りバスを廃車したが、支障はなかったのか。

中学の部活動に使えなくなったが、その分、一人あたり500円を上乗せして部活動費の補助をしている。

■大仁市民会館(維持管理事業)105

6万円)は、耐震不足だが今後は。現在検討中であるが、120団体が利用しており、検討は長引く予想。

■成人健康診査事業費は、前年対比2780万円の支出減である。がん検診が有料化されたが、今後の方向性は。

受診率は6%低下。未受診者への再勧奨や、婦人科検診勸奨のため、幼稚園や保育園の協力でチラシを配布した。有料化は、取りやめる考えはない。

■在宅高齢者福祉推進事業の御用聞きサービスは、予算180万円に対し、支出2万4000円であった理由は。

スタートが10月になったことと、委託先でできない業務があり、調整がつかないなど、利用者は6名だった。

■総合案内窓口事業230万円は、新規事業であるが効果は。

案内件数は1万6818件で、市民から非常に便利になったと聞いている。



総合窓口

議会の動き

－7月－

- 7・10日 議会だより特別委員会
17・29日 議会報告会実行委員会
28日 全員協議会

－8月－

- 6・21日 議会報告会実行委員会
7日 総務観光建設委員会
12日 福祉文教経済委員会
17日 静岡県市議会議員研修会
18日 伊豆市伊豆の国市廃棄物
処理施設組合議会定例会
24日 議会運営委員会
24日 議会全員協議会
31日～9月30日 議会第3回(9月)定例会

－9月－

- 2・28日 全員協議会
9・11・15日 総務観光建設委員会
10・14・16日 福祉文教経済委員会
29日 議会運営委員会



議員提案

伊豆の国市議会会議規則の

一部を改正する規則の制定

9月定例会最終日の9月30日に、提出者小澤五月江議員、賛同者三好陽子・柴田三智子・天野佐代里の4議員により提出されました。

内容は、これまで出産による欠席の規定が無かったため、「議員は出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長・委員長に届出書を提出することができる。」ことを付け加えた。

後藤議長に対する議長辞職

勧告決議案可決

9月定例会初日の8月31日に、水口哲雄、山下孝志、古屋鋭治の3議員から動議として提出されました。

提案理由は、後藤議員が議会全員協議会において、議員資格に関わる市内居住実態についての質問に対し、説明責任を果たさず議長職を継続していること。同僚議員3名に対して、プライバシーの侵害と名誉毀損などの謝罪を求める

催告書を送付したことにより、正常な議会運営が望めないためとしています。

質疑、討論を経て採決の結果、賛成多数で可決されました。
なお、辞職勧告決議に法的な強制力はありません。

資格審査特別委員会設置

6月25日、後藤眞一議員の議員資格(被選挙権の有無・市内に引き続き、3カ月以上の住所を有するかどうか、生活実態があるかどうか)の有無について、杉尾利治議員が、地方自治法第127条第1項の規定により、資格決定要求書を議長に提出しました。

これに伴い「資格審査特別委員会」が自動設置され、今後、この委員会で審査を行うこととなりました。

委員長 田中 正男
副委員長 古屋 鋭治
委員 水口 哲雄
山下 孝志
三好 陽子
柴田三智子

内田 隆久

議会報告会を開催しました

伊豆の国市議会では、議会活動における市民への説明責任を果たすため議会報告会を開催しています。10月14日・15日・16日に市内3会場で行い、「庁舎の集約化・斎場・し尿処理場」及び「事業評価」について市民の皆さんと意見交換をしました。

開催結果の詳細は次号で報告の予定です。



10月14日 葦山時代劇場映像ホール

議会事業評価を実施

9月定例会で、議会基本条例第10条に基づき、各常任委員会（総務観光建設委員会・福祉文教経済委員会）で選定した平成26年度決算における6事業について事業評価を行いました。10月2日に議長が議会の評価として市長へ提出しました。

（判定） 1. 拡充・継続実施 2. 改善・見直しを視野に継続実施 3. 縮小を視野に改善実施 4. 廃止を視野に検討

評価対象事業	事業内容	判定	判定に至った理由
高齢者温泉交流館 維持管理事業	高齢者の健全な憩いの場の確保、健康増進、介護予防、温泉を通じての地域間交流推進の目的のために当館を設置する。 開館時間 9時～17時高齢者 18時～19時30分一般 料金 市内60歳以上 無料 一般 大人310円 小学生150円	2	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者は、約9万人であり事業効果があるが、建物の老朽化、地盤沈下の問題を抱えている。 平成27年7月から、有料化(1回150円)したばかりであり、今後の利用状況の推移を把握・検証しつつ、経費の削減にも努力し、市民が安全・安心して利用できるよう、施設の維持・管理に努める必要がある。 今後、大規模な改修が必要な場合は、専門家の意見を聞くなどして、廃止も視野に検討が必要である。
6次産業化推進事業	農産物の6次産業化を進め、特産品等開発、雇用創出、農家所得の向上により農業振興を図る。 平成26年度は、6次産業推進室が設置され、6次産業化の推進方策を検討するため、6次産業化の先進事例の調査等を実施した。	1	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の創出・若年層や後継者の農業定着などが図られる可能性が高く、農業振興に必要な事業であり、今後に期待したい。 農家は、個人の経営なので、組織的にやれるかどうかが課題であり、大いに支援が必要である。専門家のアドバイスを受ける必要もある。 新規事業とはいえ、農土香プロジェクト、過去の中国野菜の取り組みなどを踏まえ、着実にすすめてほしい。 先進事例の視察も必要であるが、市の現状を把握したり、現場の意見を聞くことが重要である。
教育バス維持管理事業	児童の通学、課外授業等の支援、市教育バス使用規程に規定する団体等が公用・公益性の高い活動実施のための支援を目的とする。 年度当初は中型バスとマイクロバス2台を保有し運用したが、中型バスは老朽化のため11月に廃車となった。	4	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔地の児童の送迎や、スポーツ少年団・高齢者団体などの活動にとって必要な事業である。 現在保有している18人乗りのバスは、20年経過した車体であることや、万が一の事故等のリスクも懸念されることから、今の車検期間をもって、廃止を視野に検討すべき。 児童の通学・課外授業等の支援、団体等の公益性ある活動に対する支援は引き続き必要であり、今後は、民間委託・民間バスの借上げ等で対応していく方が良い。 児童の送迎の確保をはじめ、この事業の目的に沿った利用が、補助や利便性の面で、今と同様に確保できるようにすべきである。
建設一般事務管理事業 (道路・河川環境美化 業務委託料)	道路、河川、側溝等の草刈・清掃について、各区で実施できない場合に実施し、良好な環境を維持することを目的とする。 年度内に草刈6回、河川草刈3回、側溝清掃7回実施。	1	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会の高齢化、人口減少等で各地区からの要望が多く、対応が難しくなるなか大切な事業である。 河川・道路の点検パトロールを増加し、雨期等においては早期対応が必要。重大災害・事故防止のためにも推し進めるべき。 自然豊かで「美しいまちづくり」、安心・安全な環境づくりのため継続は必要。 保全・管理・補修を充実させるためにも継続するべき。
中山間地 まちづくり事業	浮橋温泉や自然資源を有効活用した循環型社会を構築し、浮橋のブランド化を図り地域活性化に寄与することを目的とする。 浮橋まちづくり実行委員会の活動支援。浮橋温泉施設維持管理、保守点検。今後の活用検討。	3	<ul style="list-style-type: none"> 浮橋地区のまちづくり推進事業は、蕎麦などを中心とした取り組みが行われ、過疎化対策や地域起こしとして更に支援していくべき。 浮橋温泉事業と、まちづくり推進事業は分けて事業を進めるべき。 浮橋温泉事業は、旧大仁町時代よりかなりの予算計上してきたが、これまでの投資と利用量や費用対効果を考えたら、廃止に向けて縮小を考えるべき。 利用者約1日40名の意思を大切に、検討すべき。
広瀬公園 維持管理事業	法令に基づき、都市公園の設置・管理を行い、健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資することを目的とする。 年度内のプール開園期間51日間。 入場者数13,291人。 大人 3,952人 子人 7,315人 幼児 2,024人	2	<ul style="list-style-type: none"> 天野公園のプールが廃止され、市内に残る唯一の市営プールで、家族で過ごせる施設であるのでその意義は大きい。 利用期間が限定されているものの、50日間・1日約260人の利用者がいる。 約800万円の赤字という課題があるが事業目的からすればいたし方ない。 管理・委託の方法も見直しが必要。 施設の老朽化という課題にどう対応すべきか難しいが、長寿命化計画を図るべき。

平成27年度 第3回(9月)伊豆の国市議会定例会

平成27年第3回(9月)議会は、8月31日から9月30日までの31日間で行われた。
条例の制定・改正、一般会計・特別会計の補正予算、平成26年度一般会計・特別会計決算認定等について審査した。

審議結果・賛否一覧表

議案 番号等	議案の名称	審議 結果	小澤	内田	佐野	杉尾	梅原	柴田	天野	渡邊	鈴木	柴田	田中	三好	古屋	山下	水口	鈴木	後藤	
			五月	隆	之	利	秀	三	佐	俊	照	三	正	陽	孝	哲	平	真		
26年度 決算	一般会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	楠木及び天野揚水場管理特別会計・簡易水道等事業特別会計・上水道事業会計剰余金の処分及び決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27年度 補正予算	専決処分の報告及び承認 一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計(第3号)・国民健康保険特別会計(第1号)・後期高齢者医療特別会計(第1号)・介護保険特別会計(第2号)・楠木及び天野揚水場管理特別会計(第1号)・簡易水道等事業特別会計(第1号)・下水道事業特別会計(第2号)(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計(第4号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	手数料徴収条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	葦山反射炉の管理及び観覧料に関する条例の改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	個人情報保護条例の改正・情報公開条例の改正・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の改正・国民健康保険条例の改正・地域支援事業の実施の猶予に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ふるさと応援基金条例の制定・葦山反射炉保全基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	葦山反射炉ガイドダンス施設建築工事の請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
その他	神島ポンプ場電気設備工事の請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	神島ポンプ場機械設備工事の請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	動産の買入れについて(消防デジタル受信機)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	葦山小学校屋外プール改修工事の請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員 提出	後藤眞一議員に対する議長辞職勧告決議	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後藤眞一議員の議員の資格決定の件	資格審査特別委員会に審査を付託																		
	議会会議規則の一部を改正する規則の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	国民理解のない「安全保障関連法案」は参議院での審議をつくり、今国会での成立を拙速に行わない事を求める伊豆の国市議会の意見書の提出を求める請願	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	

※1 ○印は賛成、×印は反対 ※2 -印は、可否同数の裁決以外は採決に加わらない。

寄附の禁止

公職選挙法により、議員が選挙区内の人に対して寄附をしたり、時候のあいさつ状を出したりすることは禁止されています。
また、同法では議員がお中元やお歳暮、地域行事への寄附や差し入れを行うなどの寄附行為も禁止されています。皆様のご理解をお願いします。

議会だより特別委員会

【委員長】 田中 正男
【副委員長】 小澤 五月江
【委員】 山下 孝志 三好 陽子
天野 佐代里 柴田 三敏

平成27年中の議会の開催予定

次回議会の予定

平成27年第4回(12月)議会

11月30日(月).....議会初日

12月 1日(火)・2日(水)・3日(木).....一般質問

12月21日(月).....議会最終日

※本日程は予定であり、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。
※各定例会の正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会でご確認ください。